

おおすぎじんじゃ
大杉神社のイチョウ

種 別	小松市指定文化財 天然記念物
指定年月日	昭和44年11月1日
所 在 地	大杉町

イチョウは、イチョウ科イチョウ属の落葉高木で、観賞用や食用に多く利用される。街路樹など人為的に広く植樹されている植物だが、イチョウ科の植物としては唯一の現存種である。

大杉神社境内のイチョウは樹高36メートル、周囲は根元付近で8メートルの巨木で、推定樹齢は450年である。地上4.5メートル程の所で幹は5つに分岐している。また、この分岐の付近からは乳柱という突起が垂れ下がり、大小約80本、長いもので長さ2メートルに及ぶ。南方に伸びる幹や主幹にはオシャグジデングというシダ植物が群生している。

県内のイチョウとしては、旧尾口村(白山市)の瀬戸神社のものに次ぐ大樹である。

